

平成16年度 プロジェクト研究評価報告（毎年度評価）

プロジェクト研究課題名	WTO体制下における農業バイオ規制を巡る国際的な摩擦の動向と整合化の方向の解明
研究実施期間	平成16年度～18年度 平成16年度予算額：9,166千円
プロジェクト研究の概要	<p>農業バイオテクノロジー、とりわけ近年の遺伝子組換え技術の急速な進歩は、作物、微生物等の大幅な改良を可能としたが、他方で消費者をはじめとする一般社会の受け入れが困難であったり、各国間の規制アプローチの差異が顕在化して、例えば米EU間で見られるような深刻な貿易摩擦を惹起している。こうした中、OECD、CODEX等の国際機関においては、バイオ規制の国際的な整合化を図るための活動が活発化している。また、農業バイオ分野の貿易紛争解決のためのルールとしてWTO協定の適用が重要な課題となりつつある。</p> <p>このような状況から、農業バイオを巡る海外の動向について、各国別の政策や生産・流通を巡る状況、並びに貿易摩擦等の各国横断的な問題の両方面から、その現状と背景、影響等について分析する必要性が高まっているところであり、これらの点について研究を進め、農業バイオ分野の国際的な議論・交渉への我が国の適切な対応や、国際的整合性を踏まえた農業バイオ政策の推進に資する。</p>
<p>評価結果</p> <p>評価会議名及び開催日 農林水産政策研究所 評価委員会 平成17年2月10日</p> <p>評価委員名 坪井伸広 (筑波大学大学院教授) 加藤順子 (三菱化学安全科学研究所リスク評価研究センター長) 岩田伸人 (青山学院大学経営学部教授)</p> <p>評価基準 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い (効率性のみ) A：妥当 B：概ね妥当 C：見直しが必要 D：妥当でない</p> <p>総合評価基準</p>	<p>【課題1】農業バイオ政策形成の社会経済的諸要因の分析</p> <p>【評価項目ごとの評価】 ( )は3名の評価委員の投票数を示す。</p> <p>&lt;必要性&gt; 政策の企画・立案へ貢献 A評価(3) B評価(0) 社会的ニーズへの対応 A評価(1) B評価(2)</p> <p>&lt;効率性&gt; 研究計画の妥当性 A評価(1) B評価(2) 研究資源・実施体制の妥当性 A評価(2) B評価(1)</p> <p>&lt;有効性&gt; 研究目標の達成可能性 A評価(2) B評価(1) 研究成果の実績 A評価(1) B評価(2)</p> <p>【総合評価】 順調に振興しており、問題はない (1) ほぼ順調であるが、改善の余地がある (2)</p> <p>【課題2】農業バイオ規制をめぐる国際関係の分析</p> <p>【評価項目ごとの評価】 ( )は3名の評価委員の投票数を示す。</p> <p>&lt;必要性&gt; 政策の企画・立案へ貢献 A評価(2) B評価(1) 社会的ニーズへの対応 A評価(0) B評価(3)</p> <p>&lt;効率性&gt; 研究計画の妥当性 A評価(0) B評価(3) 研究資源・実施体制の妥当性 A評価(1) B評価(2)</p> <p>&lt;有効性&gt; 研究目標の達成可能性 A評価(0) B評価(3) 研究成果の実績 A評価(1) B評価(2)</p>

<p>1 順調に進行しており、問題はない</p> <p>2 ．ほぼ順調であるが、改善の余地がある</p> <p>3 ．計画等を変更する必要がある</p> <p>4 ．中止すべきである</p>	<p>【総合評価】</p> <p>ほぼ順調であるが、改善の余地がある（3）</p> <p>【評価委員からの主な意見】</p> <p>政策提言を行うような研究が望まれる。</p> <p>生産者・実需者・消費者など政策に利害関係を有する者にも視野を広げた課題設定を検討してはどうか。</p> <p>政策担当機関に焦点を絞った研究をするべき。対象を広げることは効率性を損ないかねない。</p> <p>所外の機関・大学との共同ワークショップ等自由な議論が可能な機会を設けてはどうか。</p> <p>各国のGMOに関する政策の見通し、我が国への影響などを考えて情報収集にあたることにより、より有効な調査になろう。</p> <p>開発途上国のスタンスが国際関係にどのような影響を与えるか調査の視野を広げてはどうか。</p>
<p>今後の対応方針</p>	<p>研究の目標及び成果の対象の明確化については、農業バイオを巡る情勢は流動性が高いこと、国民各界各層の幅広い関心が寄せられていることなどの事情を勘案しつつ、検討していきたい。また、議論の機会等については、これまでも研究成果報告会等の形で応えてきたところではあるが、指摘を踏まえ、なお一層努力していきたい。</p> <p>各国、国際関係の情報収集・分析に当たっては、指摘を踏まえて、各国の農業バイオに関する政策の見通し、我が国への影響などを十分考慮に入れつつ、対応したい。</p> <p>開発途上国の動向については、これまでの取り組みが弱かった部分であり、指摘を踏まえて積極的に調査していきたい。</p>